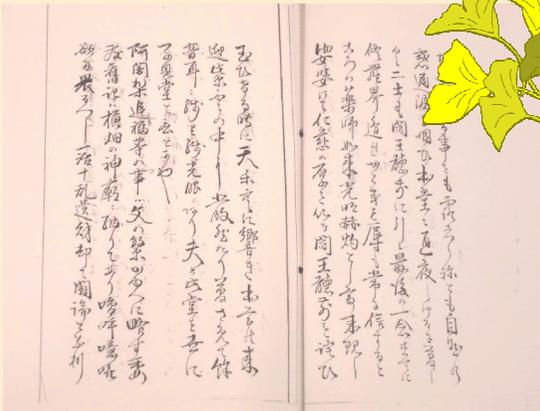


ふくじゆじ

福聚寺



これが本堂の中の様子です。



福聚寺は臨済宗妙心寺派の寺として1555年に始まりました。火事で焼失する前、本堂にあった地蔵菩薩は座っていました。地蔵菩薩は、本来は六道という棒を持って立っているのが本当だそうです。だから福聚寺の地蔵は珍しかったそうです。

また福聚寺は、昔、**研磨小学校**という名前で明治4～5年の1年間だけ寺子屋をやっていました。明治5年の**学制頒布**により、同8～9年にかけてすべての寺子屋が学校の仮校舎として使われるようになりました。

燃えてしまった指定文化財



福聚寺は2011年11月の夜に本堂から出火。飼っていた犬のシロが吠えて知らせてくれたんだそうです。その火事で、大事な**指定文化財**も燃えてしまいました。だから、別のお堂で眠っていたお地蔵様をもらってきて祀っているそうです。燃えてしまった福聚寺は**約2億円**ものお金を出してまた立て直したんだそうです。

